

ワクチン追加接種インセンティブ 抽選で特典!? またモノで釣るのか 必要性・安全性の情報こそ大切

酒井議員が質問

酒井宏明県議は3日、健康福祉常任委員会で質問しました。

県から3回目のワクチン接種インセンティブとして、64歳以下に抽選で特典を贈呈するとの説明がありました。企業団体45社から協賛をえるため、県の持ち出しはないそうです。当選者数は850名。特典のコンセプトとして“癒し”の体験をうたっています。酒井氏は「またモノで釣るのか」と批判、追加接種の必要性や安全性の情報発信こそ重要だと指摘しました。

県は昨年実施した20~30代の初回接種でのインセンティブ（旅行券配布）効果として、応募者のうち87%が「接種するきっかけ」になったと回答したことを根拠に、約8万回分効果あったと説明。しかし、事業公表から要件終期（8/6~9/30）までは第5波と重なり、それ以前と比較しようがありません。

しかも、3回目接種率でみると、高齢者（58.3%）に比べて64歳以下が17.7%（3/1現在）であることを追加接種インセンティブの理由にしていることに対して、酒井氏は「そもそも両者は接種できるスタート時点が違い、比較するのは間違いだ」として、根拠も説明も極めて不十分だと追及しました。

追加接種インセンティブ

抽選での特典贈呈

追加接種を受けた県民に抽選で特典を贈呈

▶ 応募要件

- ・ **64歳以下**の方

【3回目接種率】3/1現在、2回目接種者比

高齢者 **58.3%** 64歳以下 **17.7%**

- ・ **4月30日**までに接種した方

LINEで応募 **3/17~5/31**

特典

**全て、趣旨に賛同いただいた
企業・団体からの協賛**

特典のコンセプト

群馬の“癒し”を体験!

当選者数 **850**名

協賛企業等 **45**社